

会議録

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回あま市文化財保護審議会
開 催 日 時	令和6年3月18日(月) 午前10時から
開 催 場 所	あま市役所 2階 A会議室
内 容	<p>1 あいさつ(伊藤教育長、宮地会長)</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 文化財保存活用地域計画の進捗と今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あま市文化財保存活用地域計画(素案)</li> <li>・あま市文化財保存活用地域計画作成スケジュール(案)</li> </ul> <p>(2) 令和5年度文化財保護活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化財 甚目寺南大門 保存修理 概要</li> <li>・重要文化財 絹本著色不動尊像 保存修理 概要</li> </ul> <p>(3) 指定文化財候補について</p> <p>(4) 資料館活動令和5年度報告・令和6年度計画(案)について</p> <p>3 その他</p>
資 料	<p>資料1-1 あま市文化財保存活用地域計画(素案)</p> <p>資料1-2 あま市文化財保存活用地域計画作成 スケジュール(案)</p> <p>資料2-1 重要文化財 甚目寺南大門 保存修理 概要</p> <p>資料2-2 重要文化財 絹本著色不動尊像 保存修理 概要</p> <p>資料3 指定文化財候補について</p> <p>資料4 資料館活動令和5年度報告・令和6年度計画(案) について</p> <p>追加資料 絹本著色不動尊像 画像</p>
出 席 委 員	<p>宮地正耕会長</p> <p>石川稔子委員、筒井正委員、溝口紘委員、渡邊裕之委員、 (50音順)</p>
欠 席 委 員	渡辺幸人委員
事 務 局	<p>(教育委員会) 伊藤克仁教育長</p> <p>(教育部) 鎌倉崇志部長、徳永増美津次長</p> <p>(生涯学習課) 内山伸也課長、近藤博主幹、濱嶋直樹主幹、 入野真由美課長補佐、駒瀬直輝主査、 渡邊彩希主任</p>

## 会議の経過

### 1 あいさつ

伊藤教育長、宮地会長より

### 2 協議事項

#### (1) 文化財保存活用地域計画の進捗と今後について

資料1-1、1-2に沿って事務局より説明

【質疑応答】

なし

#### (2) 令和5年度文化財保護活動について

資料2-1、2-2に沿って事務局より説明

【質疑応答】

なし

#### (3) 指定文化財候補について

資料3に沿って事務局より説明

【質疑応答】

なし

#### (4) 資料館活動令和5年度報告・令和6年度計画(案)について

資料4に沿って事務局より説明

【質疑応答】

なし

### 3 その他

委員：行事に関する参加人数等のデータを示して過年度と比較できるようにすると、今後の判断材料にもなるのではないか。検討いただければと思う。また、指定・未指定文化財について、民俗文化財が少ない状況である。消えていく可能性の高い文化財を如何にして残すかというのが、文化財保護審議会の1つの大きな役割であるとともに課題であると考えている。

会長：ちなみに、今年度の来館者数はどれくらいか。

事務局：5,000人程度で、コロナ禍を経て徐々に増加している。各講座に関しては、大体定員に達している状況である。協議事項で事務局からの説明にもあったように、フィールドウォーカー事業のような若年層を対象とした講座も今年度実施した。

また、資料1-1の30ページにもあるように、あま市の指定文化財の特徴としてお寺関係が中心であり、市指定の無形民俗文化財は、香の物祭、下之森オコワ祭、木田八剣社湯の花神事、二十五菩薩お練り供養の4件である。これらに付随するものや郷土芸能等について、今後調査を進め文化財の指定を考えていけたらと思う。

会長：七宝小学校の講堂のようなものが、文化財に適しているのではないかと考える。

事務局：戦前の学校施設は取り壊されてしまい残ることが少ないなか、七宝小学校の講堂は木造で、床板、サッシ及び照明器具を除きほとんどオリジナルの状態に残っている。

会長：現在も使っているのか。

事務局：体育の授業で雨の日にグラウンドが使えないときのレクリエーションの場として現在でも使っている。かつては、低学年児童の学習発表会を講堂にて行っていた。

委員：10年程前に新居屋地区で農業についての聞き込みをした際に、苗田の土地はなかなか宅地化されなかったが、2~3年のうちに家が建ってしまったという話があった。次の農業に関わってくることになるため、家が建ってしまう前に伝承できるとよいと考える。

また、資料館事業について、知らない人がたくさんいると思う。デジタルでの情報発信を充実させていくべきである。

事務局：現在SNSでの情報発信や、QRコードを用いての申込みを行っている。そのような手段を増やしていき、効果を得ることができるようになりたい。

委員：資料館のホームページはあるのか。

事務局：当市の公式ウェブサイトには資料館ページがある。また、フェイスブックとエックスの専用アカウントがあり、定期的に投稿している。

委員：そこに皆がつながるような場となるとよいと思う。

委員の任期満了に伴い、各委員より一言

委員：最初は美和歴史民俗資料館を作るところから、その後は文化財保護審議会委員として深く関わらせていただいた。この地域に育てられたと感じている。輝いているまちには魅力があり、その魅力はやはり歴史や文化を大事にするというところからくる。企業誘致のみに偏っては、物足りない。歴史や文化の魅力を感じることができるとなればよい。今後も、このまちの更なる文化財の発展に力を尽くすことができたらと思う。

委員：下萱津の藤棚の修繕に関しては、改善の余地がある。近辺に駐車場もない。人の手を借り、剪定作業等を進めていってほしい。

委員：昭和時代の生活について聞き取りをコロナ禍になるまで続けてきた。現在内容をまとめているところで、何かお役に立てればと思っている。

委員：生まれてからずっと美和地区に住んでいるが、歴史的、文化的なことを知らずに過ごしてきた。委員となり、様々なことを勉強させていただいた。この地域の歴史文化について、さらに何らかの形でアピール、発信していくことが大切である。行政としてもそこに力を入れてほしい。

委員長：いかに若い人たちにあま市の歴史の深さを知ってもらうかがカギだと思う。長い期間お世話になりました。ありがとうございました。

令和6年度 第1回あま市文化財保護審議会

開催日時：未定

開催場所：未定